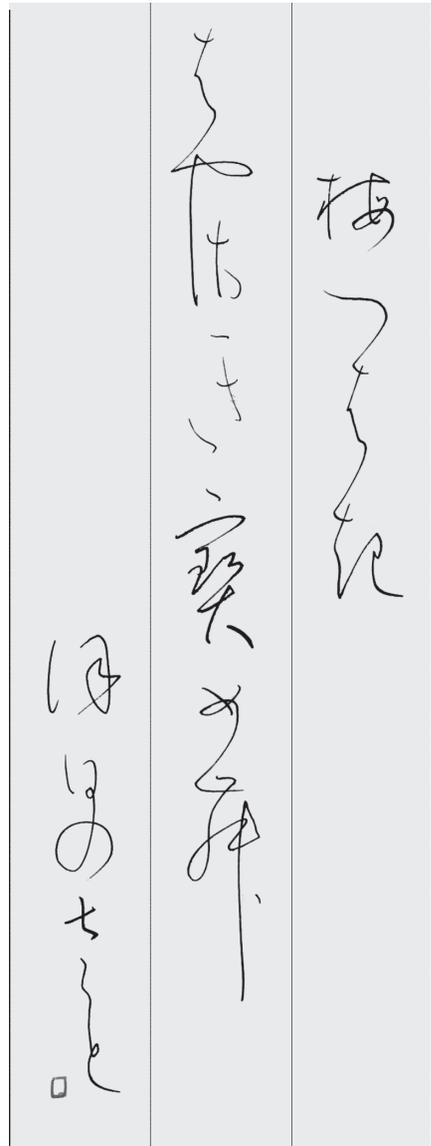


憲照先生の手本ア・ラ・カルト(12)
(à la carte)

締切り 十二月十七日(必着)

昭和63年2月



つけペン・墨汁使用

〔古筆参考〕

者^は起^き者^は起^き者^は起^き者^は起^き
 佐^さ保^ほ佐^さ保^ほ佐^さ保^ほ佐^さ保^ほ
 保^ほ保^ほ保^ほ保^ほ保^ほ保^ほ保^ほ保^ほ

梅^めつ^つば^ばき^きは^はや^やさ^さき^きほ^ほめ^めむ^むほ^ほび^びの^のさ^さと

■文字の変換・配字は自由です。

- ◎ 本会は、今年で創立六十六周年を迎えます。昨年はコロナ禍で、世界中が混乱に陥り、本会としても過去にない大打撃を受けました。しかしながら諸先生、会員の皆様の「書」への意欲は消えることなく、時間と共に基本的活動は戻りつつあります。
- ◎ この現状を踏まえ、今年の短期特別課題は、『原点回帰』をテーマとして、本会の創設者奥村憲照先生の手本を改めて学び直すことにいたします。お手本は、硬筆、毛筆、一般部、教育部なども合わせれば相当数あります。一種類を四ヶ月交替で掲載していく予定です。
- ◎ 多くの方がかつて憧れた憲照先生の書と向き合うことで、書への情熱を今一度燃え上がらせていただければと思います。
- ◎ 創立七〇周年に向けて、力強く歩んで行きましょう。

〔作品の出し方〕

- ▼ 今回も硬筆部だけに限ります。全員本会段位用紙に書いて下さい。硬筆を習っていない方も、出品は可能です。ご自由にどうぞ。
- ▼ 硬筆ならば用具は自由ですが、線美を追求のためには、つけペン・墨汁をお薦めします。
- ▼ 出品制限の対象とはなりません。
- ▼ 事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績を、作品余白にお書き下さい。
- ▼ 不明な点は無記入でも結構です。
- ▼ 優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。
- ▼ 月例作品と同封する場合は、必ず別のビニール袋に分け、表に「月例」「短期特別」と明記して混同しない様にお願います。

▼ 松尾芭蕉(一六四四〜一六九四・江戸中期の俳人。伊賀の国、上野の武士の家に生まれた。それまで遊戯と考えられていた俳諧を、すぐれた文学に高めた功績は大きい)

梅椿早咲き褒めん保美の里

▼ 保美の里とは、昔、上皇様がお褒めになったことから起こった名と聞くと、自分もそれにあやかっ、この梅と椿の早咲きを褒めよう。

※気候に恵まれ、冬も暖かな土地柄への好感を地名の由来に掛けて詠む。

準初段から六段まで

新入から1級まで

〔解説〕

成
理
は
天
命
人
事
非

少し反る

楷書の場合、波法はしっかりと

▶教範・書範は右課題を「行草または草書」で、師範は「行書」で出書して下さい。

盛衰の理は
天命といえども
あに人事に非ざらんや

新井龍峰書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会段位用紙

〔解説〕

美
感
は
人
心
に
例

軽くとめる

スツとぬく

少し反る

深	そ	美
さ	の	と
に	人	感
比	の	じ
例	心	る
す	の	の
る		は

古田瑞苑書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会級位用紙

★美を…（書体Ⅱ行書）

武者小路実篤（一八八五～一九七〇）

小説家・詩人・画家

詩人は「目標は美である。愛である。完全である」と言い、いい画や字を見ると、自分より優れた人間がこの地上に生きていたことをはつきり知って、ありがたくなり、自分も負けてはすまないと思うとも言っています。

美に対しての探求心の表れでしょう。

◆1月課題予告（楷書）

経験とは人が

自分の誤りに対し

与える名前である

★盛衰の…（書体Ⅱ楷書）

歐陽脩（一〇〇七～一〇七二）

中国・北宋の文学者、政治家

盛衰は天命と言われますが、人の仕事ではないと言いつけるのでしょうか。天命だと決めてしまえば、「しようがない」という発想が生まれます。天命が全てではなく、人の努力で多くのことが変えられると思えば、努力する気力もわいてきます。

◆1月課題予告（行書）

大切な交渉は

知恵ある者より

誠実な者にあたらせよ

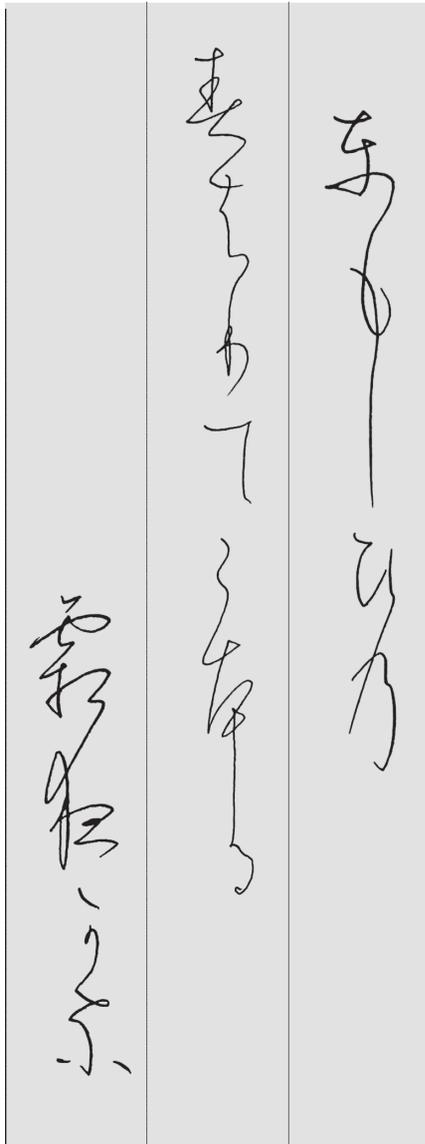
▼教範・書範Ⅱ楷書

▼師範Ⅱ行草または草書

準初段から六段まで

新入から1級まで

東^{とし}乃^ひ春^{はる}者^{もの}利^りこ本^{ほん}
灯火のすはりて氷る霜夜かな^{可奈}



た なか き こう 書
田 中 貴 光 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

と毛^し
灯火のすはりて氷る霜夜かな^{可那}



た なか き こう 書
田 中 貴 光 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

【古筆参考】

東^と 毛^も 春^{はる} 盤^は 本^{ほん}
 東 毛 春 盤 本
 東 毛 春 盤 本
 東 毛 春 盤 本
 東 毛 春 盤 本

【解説】へは、最後の

払いをそのまま下に払い、中心を右側へ右側へと移動すると、字を傾けないで中心を移動することができる。

◆1月課題予告

遠山に日の当りたる枯野かな

(高浜虚子)

灯火のすはりて氷る霜夜かな

(松岡青蘿)

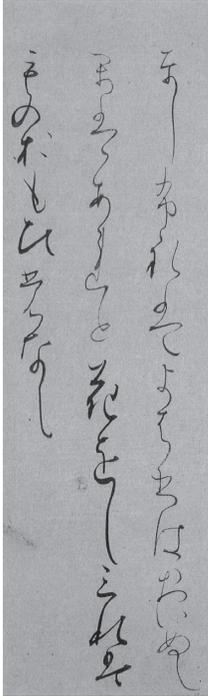
【句解】しんしんと更け渡る夜である。風も落ちて室内にも寒気が容赦なく忍びこんでくる。自分は一灯を見つめて時を過ごしている。炎は瞬きもせず寂として凍りついたように直立している。今夜はきつと霜が降りることだろう。【鑑賞】じつと動かぬ灯火のさまを(すはりて)の一語で端的に表現したのがこの句のすぐれた点である。(氷る)も晩冬の季語で季が重なるが、わずらわしくない。

締切り 十二月十七日(必着)

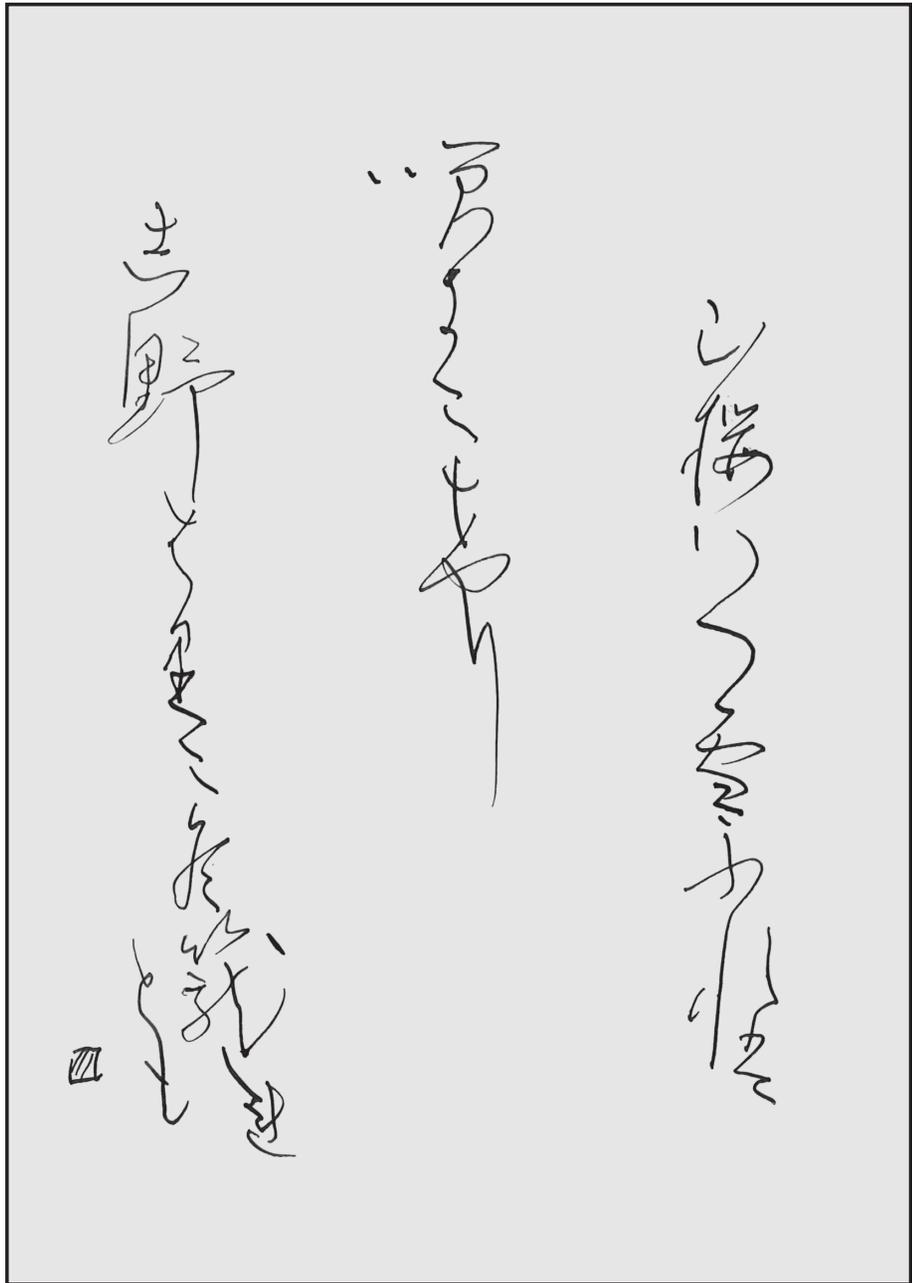
築瀬舟香書

〔古筆参考〕

せきどほんこきんしゅう
関戸本古今集



東
としふればよはひはおいぬし
布礼盤
開盤
かはあれど花をしみれば
連盤
毛
ものおもひもなし
於盤



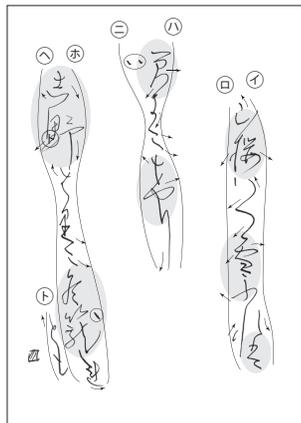
山
やまざくら初雪降れば咲きにけり
八つ盤
者二
吉野は里に冬ごもれども
龍連

〔歌意〕 ここ吉野では、自分は里に冬籠りしているけれども、山桜は満開のように見える事だよ。初雪が降ると。

〔出典〕 山家集

(新潮日本古典集成)

〔解説〕



- ①と②、①と③、①と④、①と⑤、①と⑥、①と⑦、①と⑧、①と⑨、①と⑩、②と③、②と④、②と⑤、②と⑥、②と⑦、②と⑧、②と⑨、②と⑩、③と④、③と⑤、③と⑥、③と⑦、③と⑧、③と⑨、③と⑩、④と⑤、④と⑥、④と⑦、④と⑧、④と⑨、④と⑩、⑤と⑥、⑤と⑦、⑤と⑧、⑤と⑨、⑤と⑩、⑥と⑦、⑥と⑧、⑥と⑨、⑥と⑩、⑦と⑧、⑦と⑨、⑦と⑩、⑧と⑨、⑧と⑩、⑨と⑩、それぞれ呼応。

- 余白大切。
- 密の動き大切(面構性上)。
- ▽ の方向大切。

◆ 1月課題予告
たをりこし花の色香は薄くとも
あは
哀れみたまひこころばかりは

締切り 12月17日(必着)

自由課題

- ◆今月は、文章も自由といたします。
- ◆皆さんのアイデアを生かして自由に創作して下さい。
- ◆バラエティに富んだ、個性豊かな年賀状をお待ちしています。

賀新年

お家時間を活用して絵手紙をはじめました。作品づくりにも応用できないかと考えています。ペン字展今年はあるといいですね。令和四年正月 (ご自分の氏名)

※手本は水性ボールペン使用

お家時間を活用して絵手紙を
はじめました。作品づくりにも
応用できないかと考えています。
ペン字展今年はあるといいですね。
令和四年正月 松野葉月

横書き課題

お 尾 郷 翠 光 書

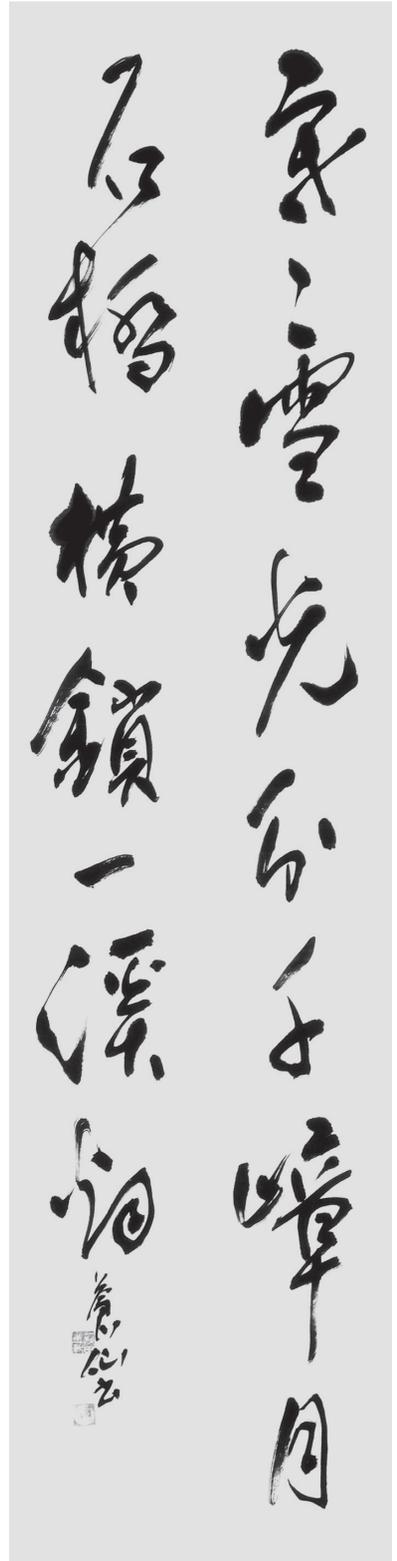
ファール昆虫記は単なる科学書
でなく、自伝的回想を交えている。

石川県能美市 氏 名

※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆条幅課題

締切り 十二月十七日(必着) 半切(一三六cm×三五cm)



萩田蒼仙書

かんせひかりはわかるせんしよのつき 寒雪光分千嶂月
せうきようたにたすいけいのけむり 石橋横鎖一溪烟

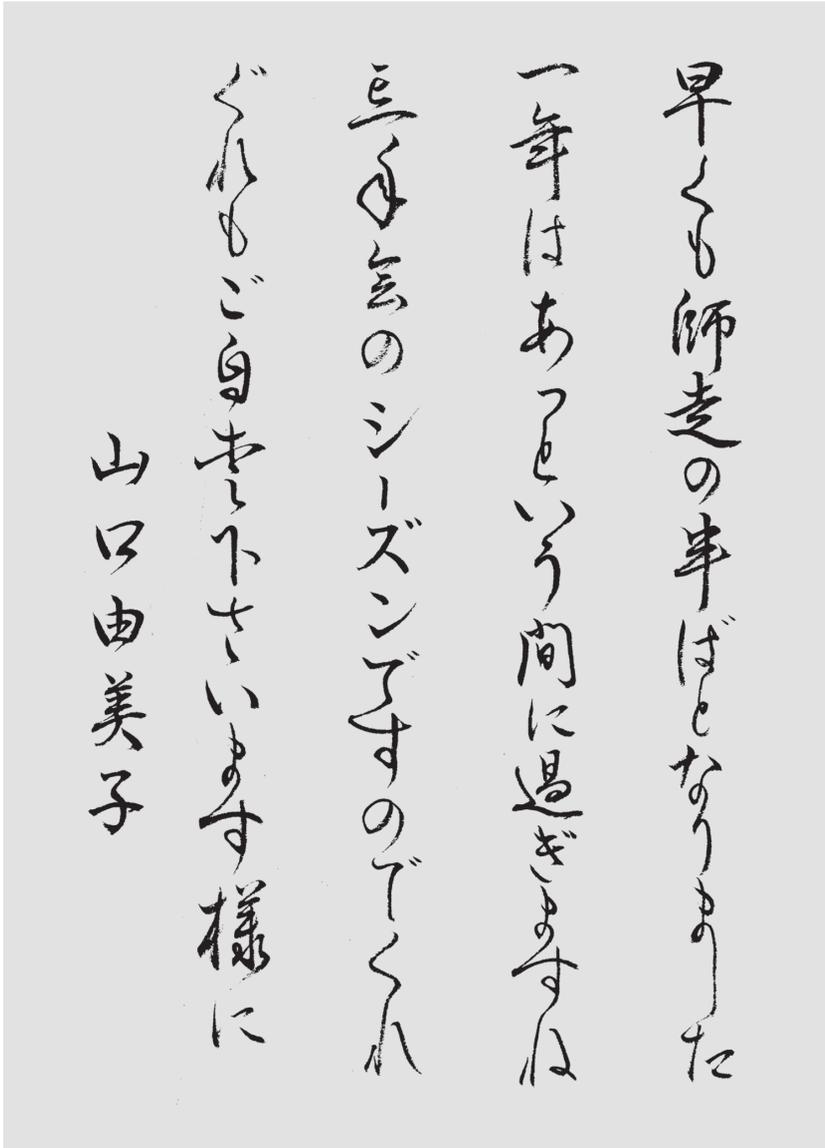
孫大成

〔大意〕寒夜の雪は光を分けて千山の月と共に照り、石の橋は横さまに谷じゅうもやに鎖された。

初出品の方へ

支部名・会員番号・姓名・毛筆漢字成績を、作品左下に必ずお書き下さい。

一般部毛筆細字課題



伊藤梅香書

半紙(334mm×240mm)

※検定試験二段コースを兼ねる。

〔条幅解説〕

コロナと災害に苦しむ方、そんな折に豪華な邸宅、贅沢な食事の饗宴に湧くテレビを…腹の立つ年でした。

平穩の願いをこめて書きました。

早くも師走の半ばとなりました
一年はあっという間に過ぎますね
忘年会のシーズンですのぐれぐれもご自愛下さいませ様に
(ご自分の氏名)
・印で墨つきしました。

〔条幅・細字作品の出し方〕

- 新人から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績(天位〜5等)は、評価により毎月かわります。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

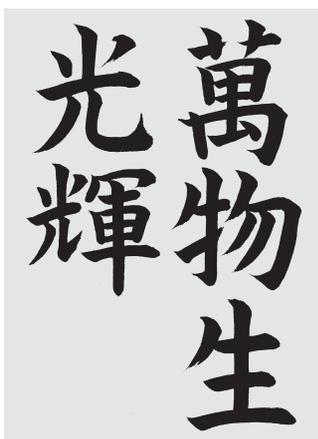
新入から1級まで(行書)



澤 幸寿書

ふゆきたりてゆうきょうながし
冬來幽興長

〔大意〕冬がやってくる心静かになくさむことが長くなる。



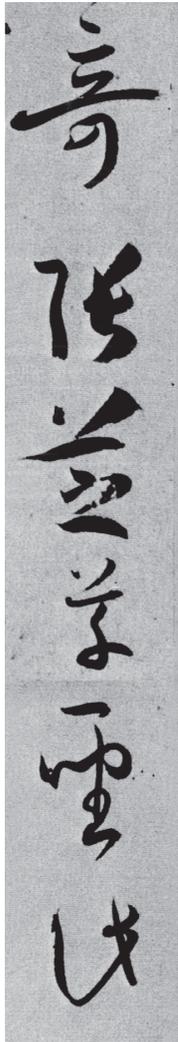
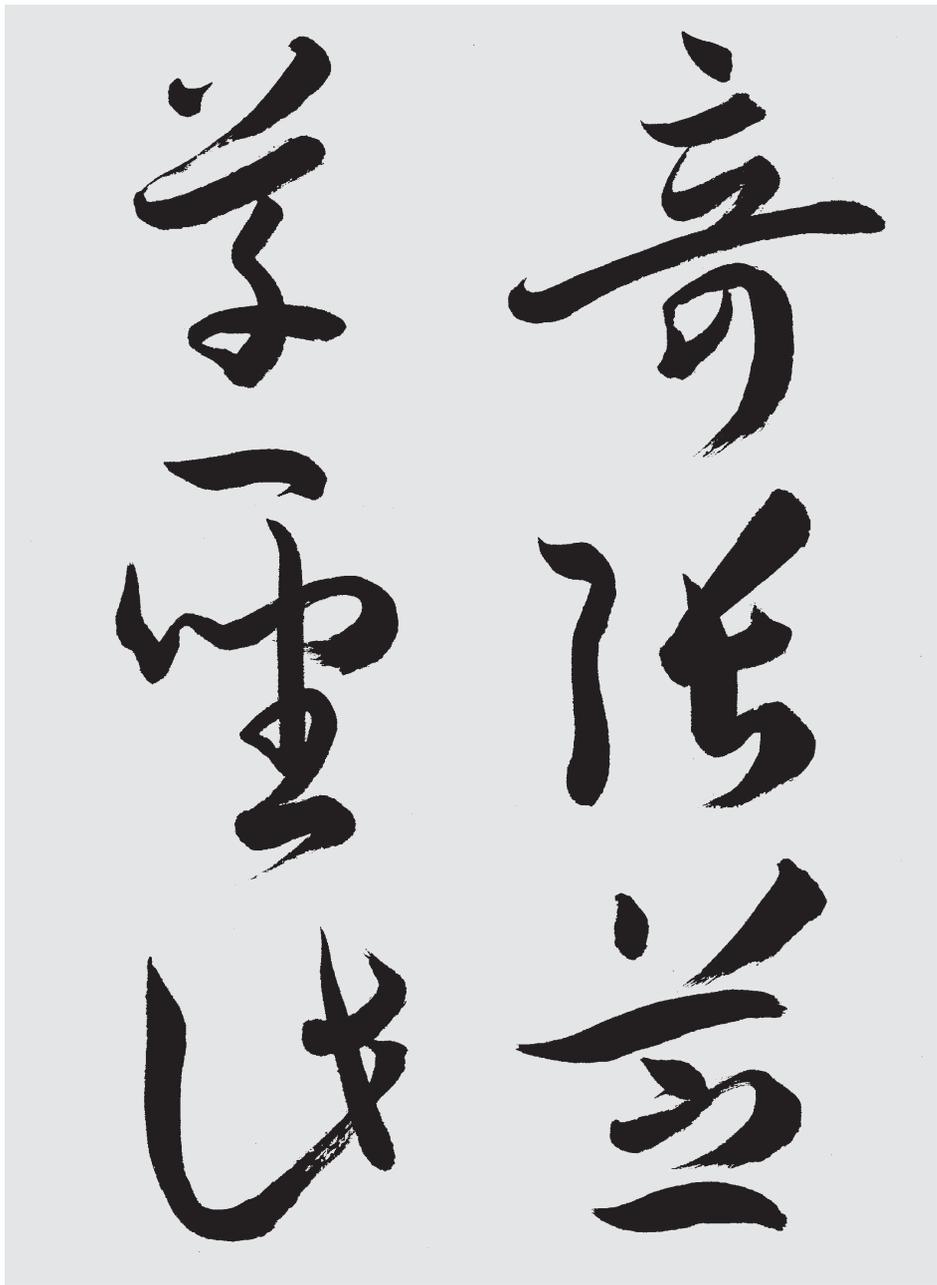
◆1月課題予告(楷書)



〔解説〕

準初段から師範まで

須田一葉臨



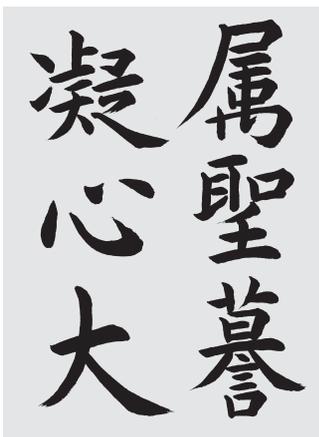
奇
張
草
聖
此

〔出典〕書譜(六八七)
〔筆者〕孫過庭(六四八?~七〇三?)
〔読み〕奇に、張芝の草に聖なるが
(如きに至りては)此れ(乃ち)

〔解説〕

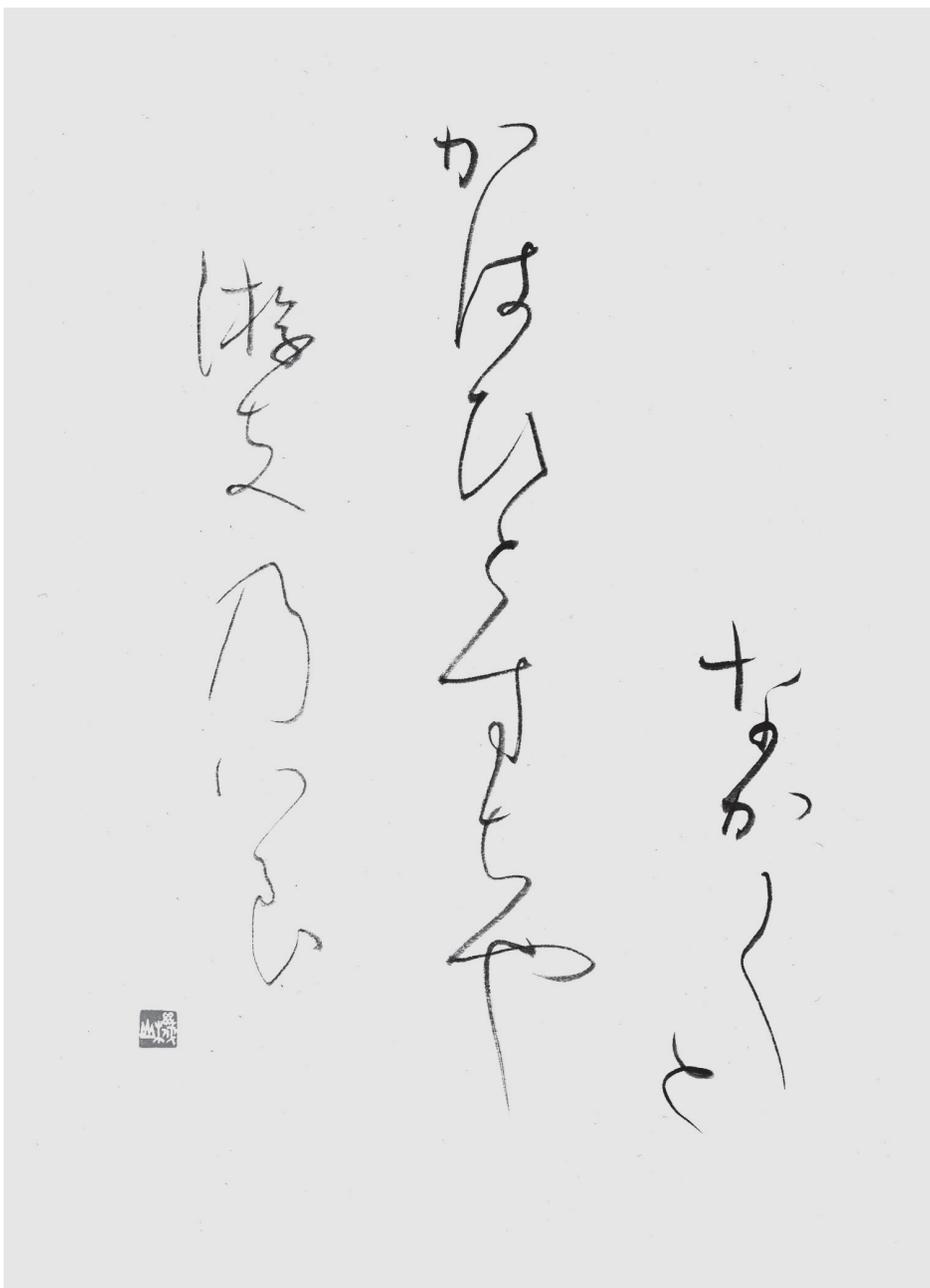


◆1月課題予告



新入から1級まで

浅井機山先生書



※検定試験1級コースを兼ねる。

ながくと川一筋や雪の原

野沢凡兆

〔句意〕

目をさえぎるもののない雪原。その白一色の
大景の中を一筋の川の流れが黒々と続いてい
る、の意。的確な画面構成の句である。

◆1月課題予告

元旦や海よりひくき小松原

〔解説〕

まず全体を見てみましょう。
上下のほぼ中程から書き始め、「と」
を添え書きしています。第2行は左右
のほぼ中央から書き始めて下まで届
く長い1行にし、しかも7字とも全部
連綿しています。墨継ぎはありません。
始めから最後まで書き上げます。
それでは、1行1行見ていきますよ
う。

「なかくと」

「なか」第1画、第2画を書く時
は、刀を振り下ろすがごとくして書き
出します。「く」、置語(じょうご)
記号で、この場合2字分くらいの長さ
で書きます。「と」、左下へ書き添えま
す。

「かはひとすちや」

全ての字を連綿していますから、
ちよっとした工夫が必要です。

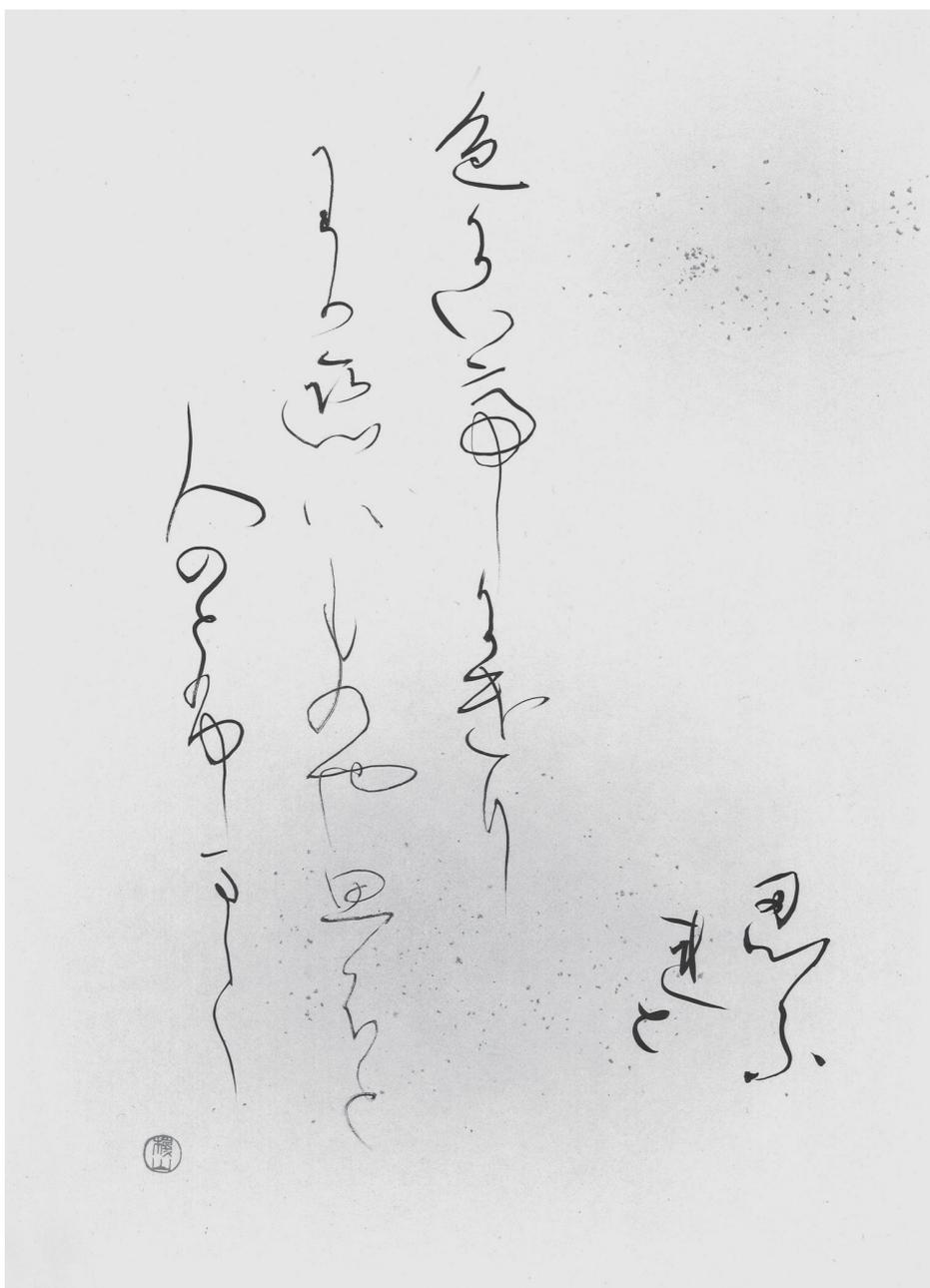
「か」、ほぼまっすぐ立っています
が、点を打ってから連綿線へ、すぐ
に「は」の第1画へ入りますが、垂直
でなくやや右に倒した縦線になってい
ますから右傾きの字形です。字は、た
いてい左上で始まり右下で終わります
から、次の字へ連綿する時は、大回り
しなければなりません。それを、ここ
では字を右傾きにし、早めに連綿する
のです。この手法を使っていくと、ど
れだけでも連綿していきます。また、
〈どの画でも筆を紙面から離すことが
出来、またつなぎます〉

「游支乃八良」

墨がかすれてもゆったりと書きおさ
めます。

準初段から師範まで

浅井機山先生書



※検定試験三段コース以上を兼ねる。

忍ぶれど色に出でにけりわが恋は

ものや思ふと人のとふまで

平兼盛

〔歌意〕

人に知られまいと、うちに秘めているが、顔色に出してしまったことだ、わが恋は。物思いをしているのかと、人が尋ねるまでに。

◆1月課題予告

あたたかき心こもれるふみ持ちて
人思ひ居れば鶯のなく

〔解説〕

料紙は、鳥の子紙にうすい鼠にベージュを混ぜたような色の具引きをし、右上と下部にぼかしを入れ、その部分に金の砂子を蒔いています。

まず全体を見てみましょう。

右下に4字を一塊にしています。それから上へあがって右左の中ほどに長い行を、次の行を少し下げてカスレギリギリまで書いて柱とし、最後の行で墨継ぎして終わりをのびのび書きます。さて、1行1行見ていきましょう。

「忍ぶ連と」

「忍ぶ」、この連綿線で左下へ強く働きかけるようにします。

「連」「と」、単体にして4字のバランスを取ります。

「色尔い帝尔遣り」

〈かな書は、漢字かな交じり書〉です。漢字でうまくバランスが取れない時は、かな書きに直します。〈かなは変体仮名のどの字を使ってもいい〉のです。

「色」、漢字ですから、2字のかな書きに直してもいいです。

「帝」「亭」ではありません。時に〈字母〉を間違える人があります。

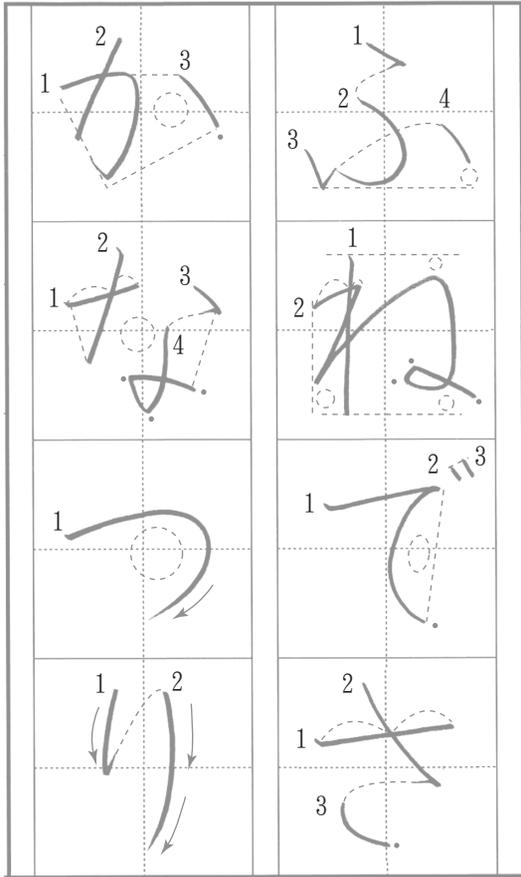
〔字典〕を引く癖をつけましょう。

「王可恋八ものや思不と」

「恋」、右の「帝」とぶつからないように。

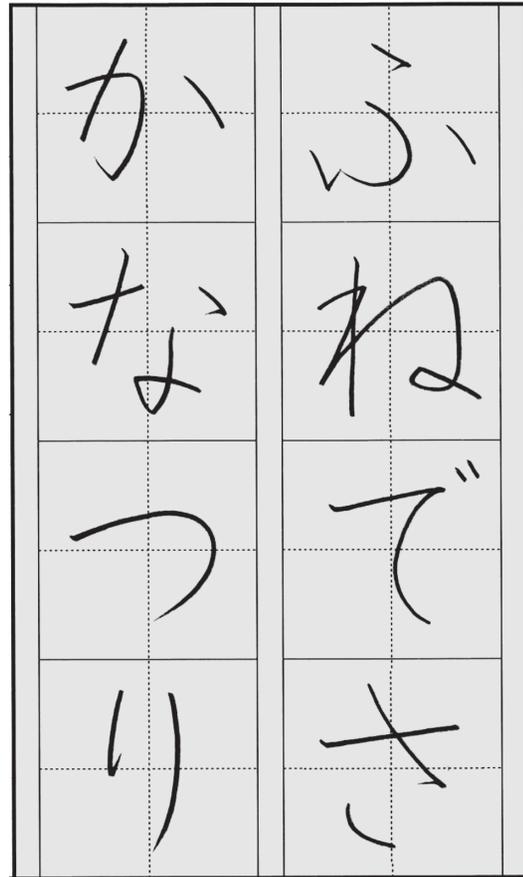
「思不」、墨がいよいよかすれていきますから、この〈カスレを慌てずゆったり書く〉とベテランの境地となります。

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)



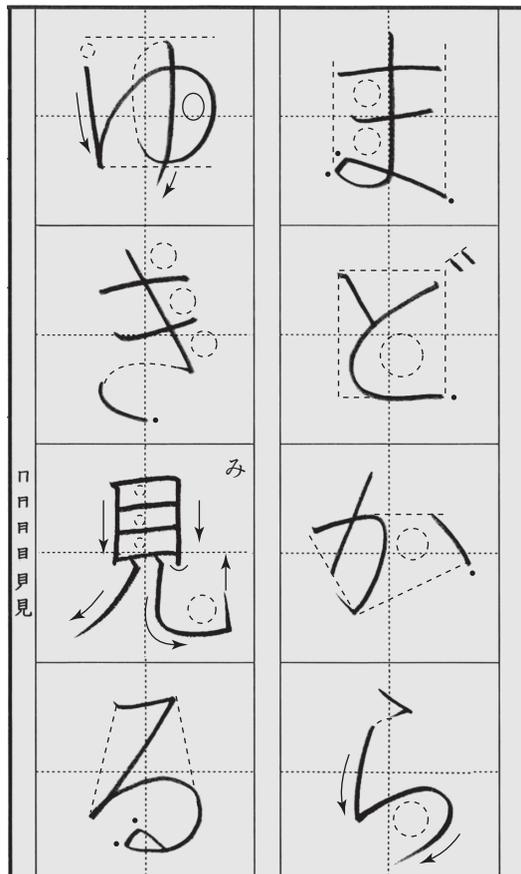
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



幼年

幼年〜小三年まで
三宅容玉書



新入〜1級

(注)えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



小一年

準初段以上

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)

い	一ニ千	千	セン
交	コウ	円	エン
番	バン	ひ	
へ		る	

新入〜1級

交	ろ	道
番	い	で
へ	近	千
行	く	円
く	の	ひ

準初段以上

小二年

準初段以上

る	あたた	温	あたた
手	て	か	
書	が	み	
き		あ	

新入〜1級

書	か	感
き	み	動
の	あ	し
文	る	た
章	手	温

準初段以上

小三年

準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

〈用具〉自由(黒色に限る)

い	アイ	愛
ひ	ケン	犬
にが	は	は
て	さむ	寒

新入1級

と	日	愛
て	の	犬
も	散	は
苦	歩	寒
手	が	い

小四年

準初段以上

資	シ	資
入	リヨウ	料
質	タン	単
問	トウ	刀

解説(よく見て習いましょう)

に	て	資
質	単	料
問	刀	に
し	直	つ
た	入	い

小五年

(全員)

小四年以上
岡嶋桂川書

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

小六年

家	の	雪
へ	町	降
と	を	る
急	背	師
ぐ	に	走

(全員)

※師走しわす＝単語としてこのように読みます。

解説(よく見て習いましょう)

町	雪
背	降
家	師
急	走

〈用具〉自由(黒色に限る)

中一年

切	葉	友
手	書	人
を	に	へ
貼	郵	出
る	便	す

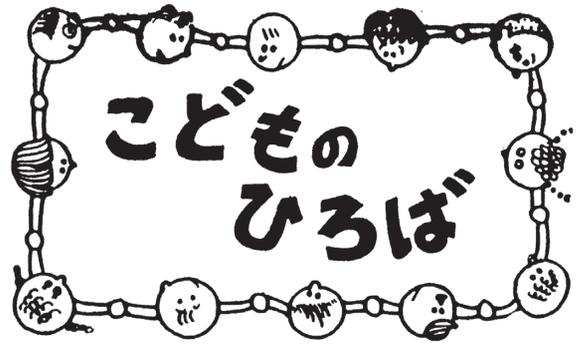
(楷書)

中二・三年

(楷書)

困	に	先
を	試	生
書	験	が
い	の	黒
た	範	板

▼小三年以下の課題 田中愛紅書



しめきり 12月17日 (必着)

習っていない漢字は
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題 高原飛水書

一	遊	今	お	明
月	ぼ	年	め	け
一	う	も	で	ま
日	ね	も	と	し
		楽	う	て
		し		
		く		
名				
ま				
え				

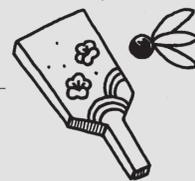
※今年・一日＝単語としてこのように読みます。

◎お手本はえんぴつ使用



元				賀
旦	申	ご	本	正
	し	指	年	
	上	導	も	
氏	げ	を	よ	
	ま	お	ろ	
名	す	願	し	
		い	く	

◎お手本はつけペン使用



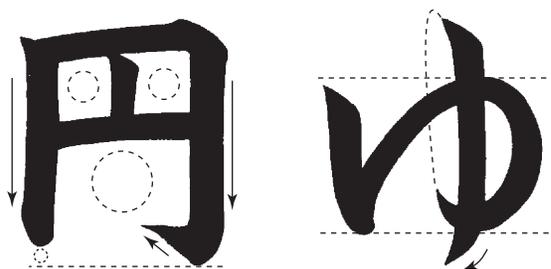
◇作品の出し方

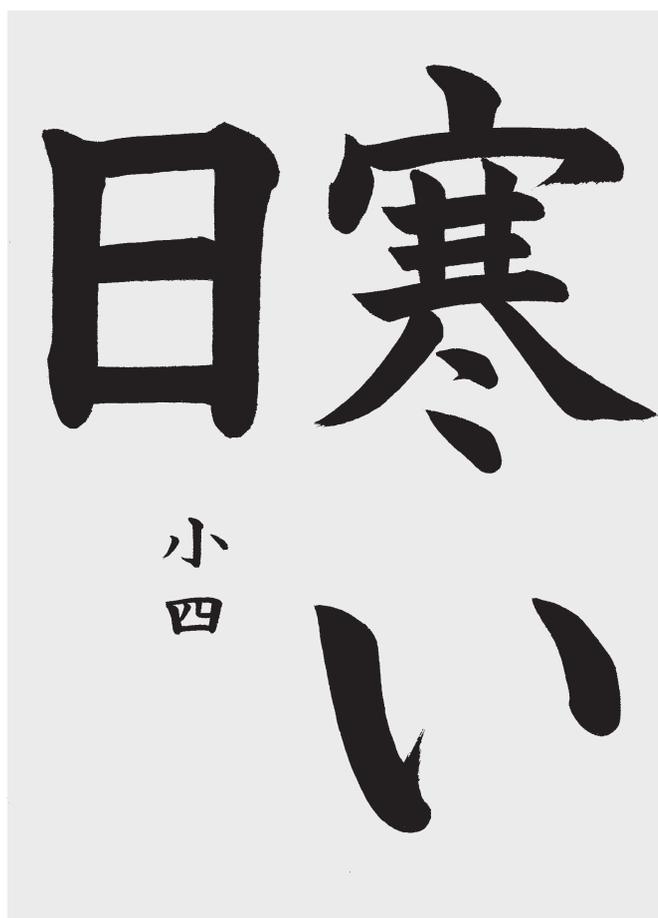
- 一、選定用紙（五行・四行）に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名（校名）学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。（黒色に限る）
- 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。





幼年〜小二年
酒井智仔書





小三〜小五年

水野碧友書

中二三

範試

團駿

小六

の師

町走

小六〜中二・三年

玉樹小華書

便

師

試

走

範

郵

中一

切郵

手便

第81回 毛筆検定試験受験要項

12月17日締切り

■受験にあたってご注意

▼検定受験者は、十二月のすべての毛筆月例競書をお休み下さい。(短期特別課題は出品可)

▼一覧表の最高昇段級位というのは、各コースで取得できる最高の段、級位を示したものです。現在この段級位にある人は、それ以上のコースを受験して下さい。

■出品方法

▼作品は、必ず一覧表に明示した順序にそろえ、右肩をホッチキスでとじて下さい。

ただし教範コースは、上から、①漢字②かな③細字④教育部手本課題⑤条幅⑥書歴(初回のみ。詳細は本部へ問合せ)の順にそろえ、ゼムクリップでとじて下さい。

▼検定作品と月例作品を同封する場合は、必ず、二つのビニール袋に分けて入れ、表に「検定」「月例」と明記して混同しないようお願いいたします。

▼支局・支部には「検定作品出品明細書」を一月号配本時に同封しますから、所事項記入の上、作品、受験料と同封して下さい。さらに、正確を期す上から受験者名簿を添付して下さい。

▼封筒に「検定受験」と朱書して下さい。

▼受験料は、為替か小為替で作品と同封するか、現金書留による送金に限ります。(振替、その他は不可)

●締切り 令和三年十二月十七日(本部必着)

●送り先 大書心会検定試験係

●発表 令和四年三月号

▼肉筆手本希望者は、毎月裏表紙掲載の先生へ、現金書留(返信用封筒同封)でお申込み下さい。

(左記料金は、一点についての金額です。ただし、コピー手本・添削料は四割の価格といたします)

※条幅の原寸大のコピー手本はありません。

・一般部1級・三段コース

漢字半紙 …… 一、二〇〇円
細字・かな …… 一、八〇〇円

・活字課題

五段コース以上
会友コース以上

漢字半紙 …… 一、四〇〇円
細字半紙 …… 一、〇〇〇円
条幅 …… 二、〇〇〇円
細字 …… 三、八〇〇円
教育部 …… 九、〇〇〇円

◆一般部1級・三段コース

コース	課題	最高昇段	課題	漢字		かな	細字	計	受験料
				楷書	行書				
一般部	1級コース	1級まで	下掲課題 かなは月例級位課題	1	1	1	—	3	1,600
	三段コース	三段まで	漢字は下掲、かな・細字は月例級位課題	1	1	1	1	4	2,100

[三段コース漢字課題]

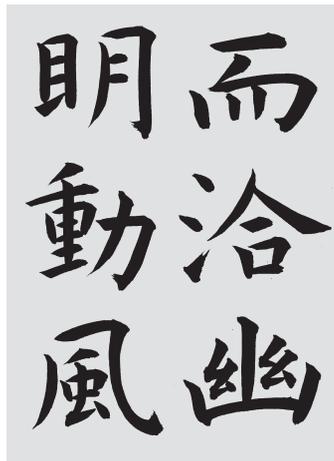
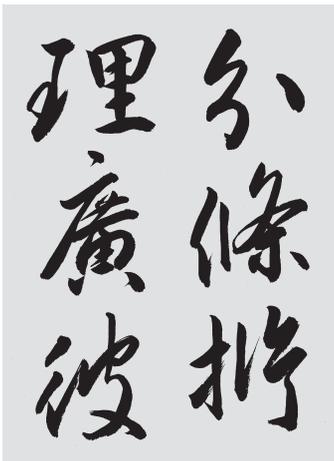
[1級コース漢字課題]

《集字聖教序》

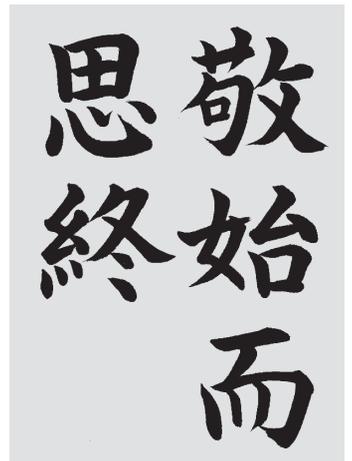
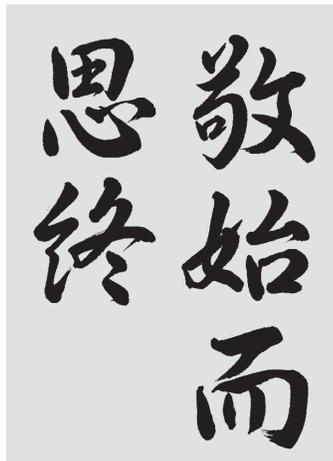
《孔子廟堂碑》

《行書》

《楷書》



始めを敬して終わりを思う



神谷葵水先生臨

澤幸寿書

コース	課題	受験資格	最高昇位	課題	漢字			かな	細字	条幅	教育部 手本	計	受験料
					楷書	行書	草書						
一般部	五段コース	有段者 支局・支部長	五段まで	下記(活字)	1	1	1	1	1	—	—	5	2,700
	書範コース	有段者 支局・支部長	書範まで	下記(活字)	1	1	1	1	1	1	—	6	3,200
	教範コース	書範 支局・支部長	教範	下記(活字)	1	1	1	1	1	1	2	8	4,200
教育部	普通コース	—	12月しめきりの月例競書課題									1	420
	会友コース	四段以上の中学生 準会友の小学生	12月しめきりの月例競書課題と下記活字課題(行書)									2	740

◎師範試験は、毎年2月に単独で実施しています。



▼書譜

学之年留心翰



▼集字聖教序

前聞截偽續真



▼孔子廟堂碑

雲而潤江海斯

漢字

五段コース以上共通(半紙)

図版で示した三つの法帖の各六文字を、それぞれ半紙に臨書して下さい。

五段・書範・教範コース課題

- 五段・書範・教範コース受験のきまり**
- 一、五段・書範・教範コース受験は、上掲一覧表のとおり受験有資格者に限ります。
 - 二、教範コースは単位合格が認められますが、単位を取得されていても、受験の際は改めて全科目を提出して下さい。ただし、合格科目については、審査の対象から除きます。
 - 三、単位合格は、二年以上検定試験を受験しないと無効になります。

かな

三段コース以上共通(かな用半紙)
次の和歌を、かな半紙にちらし書きにして下さい。
◎忍ぶれど色に出でにけりわが恋は
ものや思ふと人のとふまで(平兼盛)

※9頁参照

条幅

書範・教範コース共通(画仙紙半切)
次の語句を、画仙紙半切に体裁よく書いて下さい。

松心鶴性清如水
逗雪盤雲共老懷

細字

五段コース以上共通(半紙)
次の語句を、行書または行草体で体裁よく書いて下さい。

冬至は子供達と沸かしたお風呂に
柚子を浮かべて入り温まりました
寒い季節を乗り越えられるように
毎朝の散歩も頑張っています

教育部手本課題

教範コースのみ(半紙)

小1 にわ

小6 復旧
工事

※氏名は、各学年に合わせてお書き下さい。
(小1年はひらがなで書くなど)

成績

(行書)

会友コース課題

十二月締切りの自分の学
年の月例課題一枚
上の語句の行書一枚
計二枚を一組とし、右肩
をとじて出品のこと。